

## アレルギーの検査

私たちのからだには、外から入ってきた細菌やウイルスなどの異物を排除しようとする「免疫」という仕組みがそなわっていて、からだを守っています。ところが花粉や食べ物など人体に無害なもの、攻撃しなくてもよいものに対しても免疫反応が起こってしまうのがアレルギーです。アレルギーにはいくつか種類がありますが、ここでは、IgEという抗体が関与する即時型アレルギーに関する検査について紹介します。

アレルギーを引き起こす物質を「アレルゲン」といい、私たちの周りのいたるところに存在します。アレルゲンとなる物質は人によって様々であり、1人がいくつものアレルゲンをもっていることも少なくありません。問診や診察により疑わしいアレルゲンを推定することができますが、アレルゲンを正確に特定するために当院では即時型アレルギーを調べる血液検査を行っております。

- 食物系アレルゲン 卵白、オボムコイド、ミルク、小麦、ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米、エビ、カニ、キウイ、リンゴ、マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉、バナナ、豚肉
- 吸入系その他のアレルゲン ヤケヒョウダニ、ハウスダスト1、ネコ皮膚、イヌ皮膚、ガ、ゴキブリ、スギ、ヒノキ、ハンノキ（属）、シラカンバ（属）、カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ、アルテルナリア（ススカビ）、アスペルギルス（コウジカビ）、カンジダ、マラセチア（属）、ラテックス、オオアワガエリ



この検査では、即時型アレルギーの原因である特異的IgEという抗体が血液中にあるかどうかを調べ、ある場合はその程度を数値化します。対象となるアレルゲンは、39項目（食物系アレルゲン20種類、吸入系その他のアレルゲン19種類）です。これらすべてが約3cc程度の採血量で同時に測定できます。